

# 子どもの自殺対策について



平成31年3月  
長野県健康福祉部

# 1 現 状

## 2 主な取組

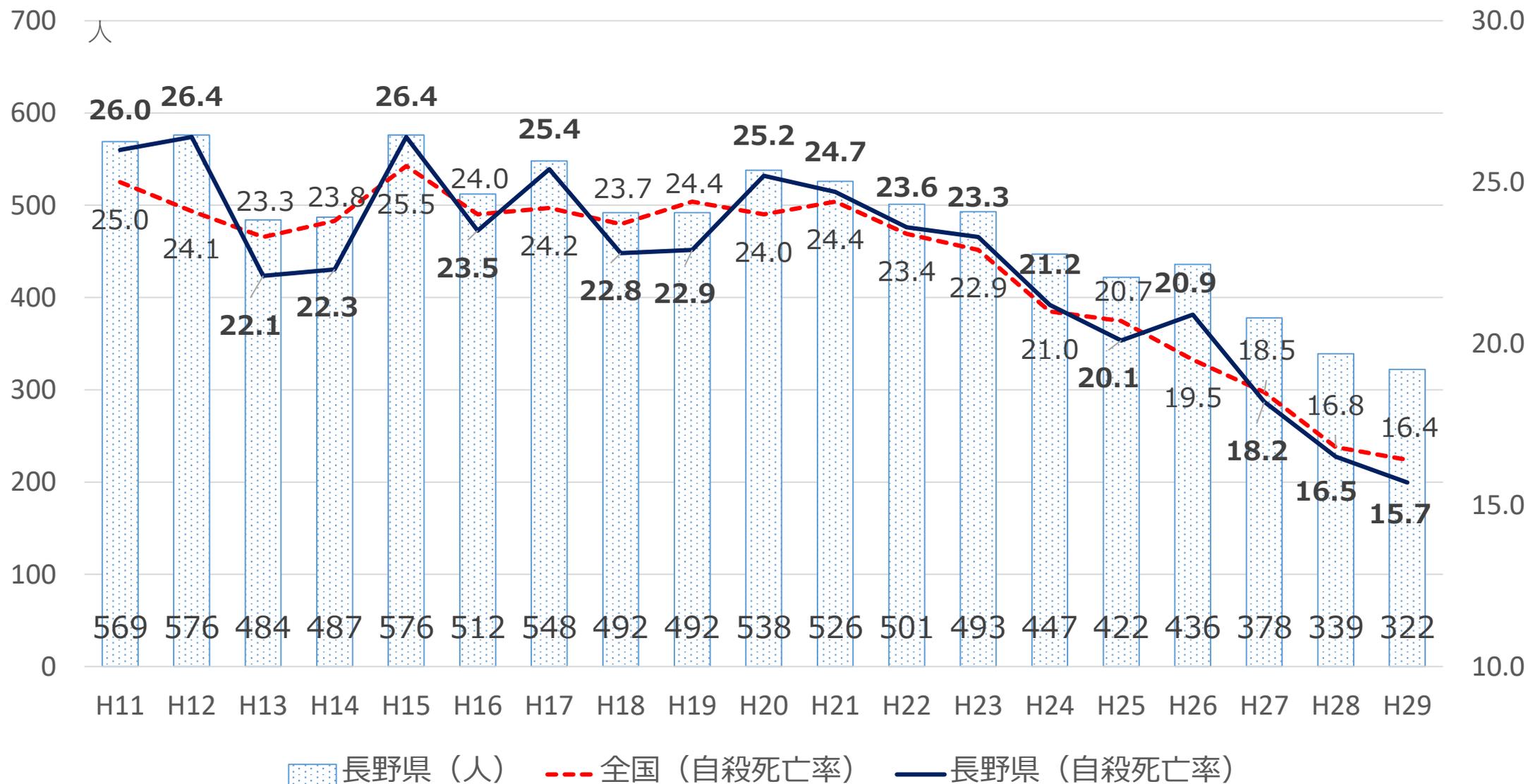
- (1) 日本財団いのち支える自殺対策プロジェクト
- (2) 長野県自殺対策推進計画
- (3) 子どもの自殺対策プロジェクトチーム及び「子どもの自殺ゼロ」を目指す戦略（案）

## 3 新たな取組

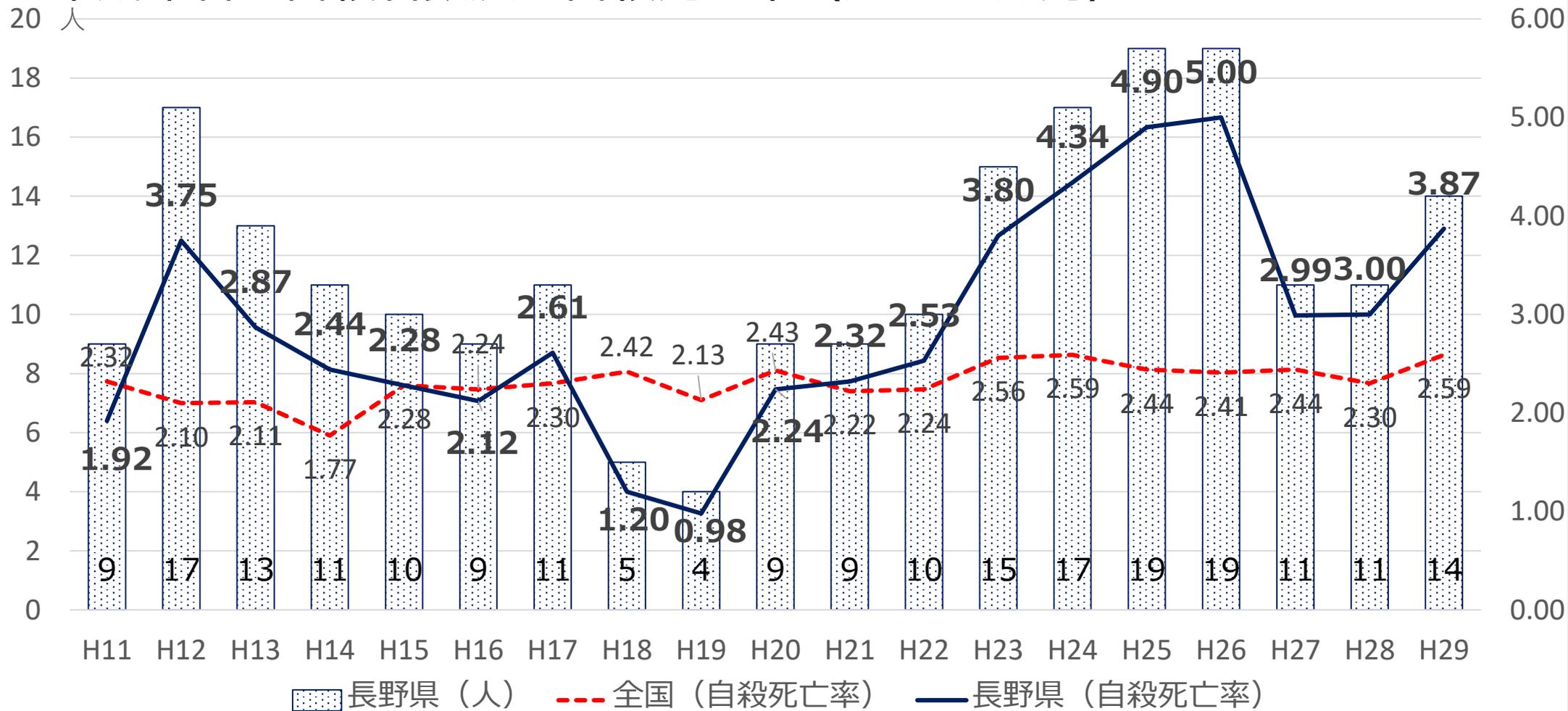
- (1) LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」
- (2) SOSの出し方に関する教育の試行

# 1 現 状

## 全世代の自殺者数及び自殺死亡率（人口10万対）



# 未成年者の自殺者数及び自殺死亡率（人口10万対）



H23~27	
全国	2.49
長野県	4.21

H24~28	
全国	2.44
長野県	4.06

H25~29	
全国	2.44
長野県	3.97

自殺者数：人口動態統計（厚生労働省）、人口：人口推計（総務省）

## 2 主な取組

H28.9 日本財団と協定締結

**「いのち支える自殺対策プロジェクト」**



H30.3 **第3次長野県自殺対策推進計画の策定**

重点施策の1つに「未成年者の自殺対策の強化」を位置づけ

H30.8 **いのち支える市町村キャラバンの実施**（圏域単位）

～10

市町村長に自殺対策の重要性を訴え、市町村計画の策定など市町村の取組を促進

H30.8 **子どもの自殺対策プロジェクトチームの設置**

阿部知事（座長）、有識者、教育関係者等で構成  
子どもの自殺の背景分析、取組の検討等

H31.2 **「子どもの自殺ゼロ」を目指す戦略（案）**

H31.2.15～3.16 パブリックコメント

# (1) 日本財団いのち支える自殺対策プロジェクト

## 実践

ワンストップ型総合相談会

モデル市町村の取組支援

いのち支える市町村キャラバン

市町村計画策定支援研修会

「まいさぽ」との事例検討会

## 啓発

新聞連載広告（リレーメッセージ）

御守り型・ハンカチ型リーフレット



## (2) 第3次長野県自殺対策推進計画

「誰も自殺に追い込まれることのない信州」を目指して

### 基本施策

市町村等への支援強化  
地域・庁内ネットワークの強化  
自殺対策を支える人材育成  
県民への啓発と周知  
様々な「生きる支援」の推進

### 重点施策

未成年者の自殺対策の強化

高齢者の自殺対策の推進

生活困窮者自立支援制度との連携強化

勤務問題による自殺対策の推進

### 関連施策

# 未成年者の自殺対策の強化

## 自殺のリスクを抱えた未成年者への**危機介入**

- ① 「自殺のサイン」を支援につなげるための連携の強化
  - ・ 「気づき」の機能強化
  - ・ 必要な支援に「つなぐ」連携体制の強化
  - ・ 「回復支援」の機能強化
- ② 未成年者向けの相談支援体制の強化

## 自殺のリスクを抱える前段階における**予防策**

- ① 「SOSの出し方に関する教育」の推進
- ② 「生きる支援」に関する相談先の周知

## 自殺のリスクを抱えさせない「生き心地の良い**地域づくり**」

- ① 子どもの居場所づくり
- ② 様々な「生きる支援」の展開

### (3) 子どもの自殺対策プロジェクトチームと「子どもの自殺ゼロ」を目指す戦略（案）

H30.8～プロジェクトチームにおいて、自殺の背景分析、戦略を検討

#### 基本方針

自殺のリスクを誰にも気づいてもらえない子ども、必要な支援が受けられない子どもをゼロにすることにより、**「子どもの自殺ゼロ」**を目指す。

#### 現状と課題

- **ハイリスク者への危機介入の強化が必要**  
大人の認識不足、関係機関の連携・対応力強化、相談支援を受けやすい環境づくり
- **危機的状況に陥らないための教育等が必要**  
援助希求行動がとれない、コミュニケーションが苦手等
- **子どもを取り巻く環境を整備する必要**  
子どもの心に響く効果的取組、多様な子どもの居場所、**ネット時代に特有の課題等**

#### 重点施策

ハイリスクの子どもの把握と専門チーム（仮称）による**対応困難**ケースへの個別支援、人材育成

## 1 自殺のリスクを抱えた未成年者への危機介入

- (1) 大人の気づきの感度と対応力の強化  
〔 県民との危機感の共有とゲートキーパー研修の拡充  
保護者に対する啓発、教職員の研修、支援者のスキルアップ 〕
- (2) 困難ケースへの対応の強化（専門チームの設置等）
- (3) 学校の対応力の強化（SC・SSWの拡充等）
- (4) 相談・支援体制の強化（SNS相談から実支援へのつなぎ強化等）

## 2 自殺のリスクを抱える前段階における予防策

- SOSの出し方に関する教育の全県展開
- SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の充実
- 日本財団HEROsアンバサダーによる講演・ワークショップ
- SNSを活用した情報発信

## 3 自殺のリスクを抱えさせない「生き心地の良い地域づくり」

- 若者から生き心地のよい地域づくりの提言をもらう機会の創出
- 多様な居場所づくりの推進（大学生のサポートを得られるなど）
- インターネットの適正利用の推進

### 3 新たな取組

#### (1) LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」

##### 目的

生徒が抱える悩みに対し、SNSを使って相談できる相談窓口を設置し、問題の改善を図るとともに、自殺予防につなげる。

##### 期間

I期：H30.7.1～7.29、II期：H30.8.18～9.18（計60日間）

##### 対象者

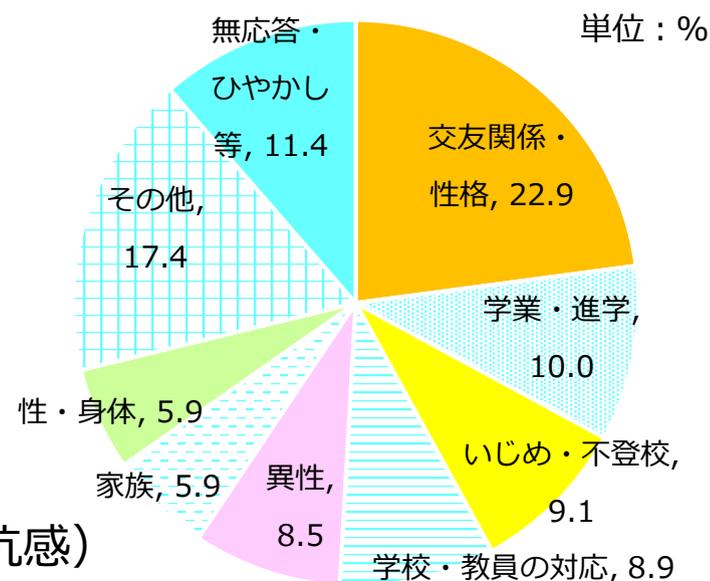
県内の中学生、高校生等 約12万人

##### 実績

時間内アクセス	901件
対応件数	529件
相談対応率	58.7%

##### 効果

- 気軽に相談できる（電話相談には抵抗感）
- 悩みの初期の段階で対応可能
- ほどよい距離感で、相談者のペースで相談できる。
- ログ（相談記録）を見ながら、継続的に対応できる。



## (2) SOSの出し方に関する教育の試行

### 目的

ストレスへの対処方法、SOSの出し方、③友だちのSOSの受止め方などを身に付けてもらう。

### 取組

- モデル中学校（6校）で試行（H30.9～11）
- 生徒・参観者アンケートに基づき検証
- 研修会（4地区）開催（H31.1）
- 各市町村が順次実施（H31～）

中学生はみんな悩んでいることを知って安心した。

いま悩んでいることを授業を参考にして相談してみようと思った。

困っている友だちにどう接したらよいか分かった。

日ごろからストレスを感じているので、ストレス解消法をやってみようと思った。

### 数値目標

公立中学校における実施割合 100%

◆ 授業後の生徒アンケート結果（単位：%） **97.5**

